



株主の皆様へ

第 122 期 報 告 書

平成22年3月1日から平成23年2月28日まで



東宝株式会社

証券コード：9602

第7回 東宝シンデレラ オーディション 受賞者

Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

この度、代表取締役社長に就任いたしました島谷能成でございます。

先般の東日本大震災は、我が国に大きな爪痕を残しました。被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

当社グループにおきましても、映画・演劇劇場の営業の一時休止や営業時間の短縮を余儀なくされるなど、様々な影響を受けました。

それに伴い、株主の皆様にもご不便をお掛けいたしましたことをお詫び申し上げますとともに、多くのご指導、激励の声を賜りましたことを御礼申し上げます。

震災に起因する不安定な社会情勢が続く中、回復基調にあった国内経済の爾後の動向が懸念され、当社グループの主力事業である映画、演劇事業への影響も予断の許されない状況ではございますが、「多くの方々に健全な娯楽を提供する」という創業以来の使命を肝に銘じ、この困難な状況を乗り切るべく微力を尽して参る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 島谷能成



Review of Operation Consolidated

TOHOレビューオブオペレーション（連結）

営業の概況

当期におけるわが国の経済は、各種経済対策の効果もあり、緩やかな回復傾向を示しましたが、厳しい雇用情勢や円高の影響により、景気は足踏み状態のまま推移いたしました。

映画界におきましては、製作本数が拡大した3D映画が好稼働したことを一因に2010年の年間興行収入は2,200億円を超える過去最高の数字となりました。また邦画の興行収入は昨年を上回る1,182億円超となり3年連続で最高記録を更新しました。

このような情勢下において当社グループでは、「借りぐらしのアリエッティ」「THE LAST MESSAGEーザ・ラストメッセージ 海猿ー」等の数々のヒットを連打した映画事業の映画営業事業部門が興行収入の新記録となるなど順調に推移したほか、映像事業部門が成績を伸ばしました。一方景気後退の影響が大きい演劇事業、不動産事業は伸び悩みました。この結果営業収入は1,989億5千3百万円（前期比1.4%減）、営業利益は224億3百万円（前期比16.9%増）、経常利益は231億7千8百万円（前期比14.9%増）、当期純利益は113億9千9百万円（前期比44.7%増）となりました。

以下各事業部門ごとにご報告申し上げます。

■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、当社において表1記載の33番組36本を提供いたしました。また、東宝東和(株)において「怪盗グルーの月泥棒 3D」等9本を配給いたしました。その結果、映画営業事業収入は411億6千4百万円（前期比2.2%増）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において前記各作品のほかに、「アリス・イン・ワンダーランド」「トイ・ストーリー3」「インセプション」「パイオハザードIV アフターライフ」「ナイト&デイ」「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1」等、邦洋画の話

表1. 当期中の提供映画作品

① 共同製作・配給作品	
라이어ゲーム ザ・ファイナルステージ	ダーリンは外国人
名探偵コナン 天空の難破船	のだめカンタービレ 最終楽章 後編
劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル	ボックス！
座頭市 THE LAST	告白
FLOWERSーフラワーズー	借りぐらしのアリエッティ
ハナミズキー君と好きな人が、百年経きますようにー	カラフル
劇場版メタルファイト ベイブレードVS太陽〜灼熱の侵略者ソルブレイズ〜	劇場版デュエル・マスターズ 炎のキズナ××!! ※
悪人	THE LAST MESSAGEーザ・ラストメッセージ 海猿ー
十三人の刺客	君に届け
雷桜	SP THE MOTION PICTURE 野望篇
SPACE BATTLESHIP ヤマト	劇場版BLEACH 地獄篇
チェブラーシカ	劇場版イナズマイレブン 最強軍団オーガ襲来
くまのがっこうージャッキーとケイティーー	GANTZ
僕と妻の1778の物語	あしたのジョー
太平洋の奇跡 フォックスと呼ばれた男	
② ①以外の当社配給作品	
映画ドラえもん のび太の人魚大海戦	映画クレヨンしんちゃん 超時空！嵐を呼ぶオラの花嫁
踊る大捜査線THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ！	劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール 幻影の覇者ゾロアーク
劇場版NARUTOーナルトー疾風伝 ザ・ロストタワー	劇場版NARUTOーナルトーそよ風伝 ナルトと魔神と三つのお願いだってばよ!!
劇場版NARUTOーナルトーの森	

※「劇場版デュエル・マスターズ 炎のキズナ××!!」は配給のみ

題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は634億5千1百万円（前期比0.1%減）となりました。なお、当社グループの当期中の劇場異動は次頁の表2の通りとなり、興行網の再構築を引続き進展させました。これらにより、当社グループのスクリーン数は6スクリーン増の588スクリーン（共同経営44を含む。）となりました。また、デジタルシネマ機器及び3D機器の導入設置を加速させ、コンサートやスポーツイベントの中継などのコンテンツの



■「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」
©2010「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」製作委員会



■「告白」
©2010「告白」製作委員会



■「悪人」
©2010「悪人」製作委員会

充実、劇場稼働率の向上に努めました。チケット販売においては、「TOHOシネマズギフトカード」や携帯電話の通話料決済との連携導入により利便性向上を図り、お客様へのサービス強化に努め、他社との差別化を図りました。

表2. 当期中の劇場異動

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
平成22年4月16日	TOHOシネマズ上大岡	9	横浜市	TOHOシネマズ(株)	オープン
8月31日	札幌東宝公衆劇場	△1	札幌市	北海道東宝(株)	閉館
8月31日	旭川東宝1・2	△2	旭川市	北海道東宝(株)	閉館

映像事業のうち映像制作事業では、当社において劇場用映画「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」「告白」「悪人」「星守る犬」を製作いたしました。またテレビ放送用連続ドラマ「警部補 矢部謙三」「ハンマーセッション!」「最上の命医」、スペシャルドラマ「TRICK新作スペシャル2」を制作しました。ビデオ事業は、当社において表3ほかの提供を行いました。出版・商品事業は劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「借りぐらしのアリエッティ」「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ!」「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール 幻影の覇者 ゾロアーク」「SPACE BATTLESHIP ヤマト」を始めとする当社配給作品が、洋画では「トイ・ストーリー3」「ナイト&デイ」等が、また東宝カレンダー2011年版が順調に稼働いたしました。新規事業でありますODS配給事業では、日韓共同企画のテレビ用映画「テレシネマ7」「Mr. Children/Split The Difference」「DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろう?」等17作品を配給いたしました。版權事業は、TVアニメ「はなかつぱ」を製作し、平成22年3月29日よりNHK教育テレビにて月～金毎朝夕の放送を開始いたしました。ほか「東宝怪獣キャラクター」等の商品化権収入に加え、製作出演いたしました作品の各

種配分金収入がありました。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、(株)東宝コスチューム等各社では、主要な取引先であるテレビ局の予算削減の影響を受けながらもコスト削減に努め、新規のイベント受注や広告その他の事業において受注増を図りました。その結果、映像事業収入は236億9千万円（前期比3.8%増）となりました。

以上の結果、映画事業収入は1,283億7百万円（前期比1.3%増）となりました。

表3. 当社において当期中に提供した主なビデオ作品

作品・商品名	年	レンタル用DVD (リリース日)	販売用DVD (発売日)
東宝特撮Blu-rayセレクション 三大怪獣地球最大の決戦	平成 22年	－	3月19日
東宝特撮Blu-rayセレクション モスラ対ゴジラ		－	3月19日
マイガール DVD-BOX		3月26日	3月26日
カイジ 人生逆転ゲーム		4月9日	－
美男（イケメン）です		－	4月23日
沈まぬ太陽 (*販売用ブルーレイディスクも発売)		5月14日	5月28日
なくもんか		5月21日	－
マジすか学園 DVD-BOX		5月21日	5月28日
ゼロの焦点 (*販売用ブルーレイディスクも発売)		6月4日	6月18日
オーシャンズ (*レンタル用ブルーレイディスクもリリース)		7月9日	－
ウルルの森の物語		7月9日	－
映画レイトン教授と永遠の歌姫		7月9日	－
ゴールデンランパー		8月6日	－
映画ドラえもん のび太の人魚大海戦		8月6日	－
テレシネマ7 DVD-BOX		10月8日	9月23日
名探偵コナン 天空の難破船 ロストフニア		10月8日	－
劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル ボックス!		11月12日	11月26日
座頭市 THE LAST (*販売用ブルーレイディスクも発売)		11月26日	－
告白 (*販売用ブルーレイディスクも発売)	平成 23年	12月10日	12月23日
嬢王3 ～Special Edition～ DVD-BOX		1月14日	1月28日
FLOWERS ーフラワーズー (*販売用ブルーレイディスクも発売)		2月11日	2月18日
瞳の奥の秘密		2月11日	2月18日

■ 演劇事業

演劇事業では、帝国劇場におきまして、2000年の初演から記念すべき10周年をむかえた「Endless SHOCK」が、3月、7月、本年2月と全席完売の記録を更新しました。新キャストが加わった「エリザベート」は、3ヶ月にわたる大ヒット公演となり、「モーツァルト!」も好評を博しました。その他「新春 滝沢革命」等好調に推移しました。シアタークリエでは、「ガイズ&ドールズ」「オレの内に来てクリエ!」「みんなクリエに来てクリエ!」が完売を記録、「まさかのChange?！」が連日満席の好成績となりました。また、「ウィーン・ミュージカル・コンサート」などのコンサート公演も行い、「DRAMATICA／ROMANTICA」は、渋谷C.C.Lemon ホールで追加公演を行うほどの大盛況となりました。また、日生劇場では、日本初演となる「ゾロ」が高い舞台成果の公演となり、JCBホールでは、「マイ・フェア・レディ」大地真央イライザ・ファイナル公演が盛況となり、全国へと展開を続けている社外公演などが事業収益に貢献をいたしました。一方、東宝芸能(株)では、CM契約の減少により芸能部門が低迷し、また(株)コマ・スタジアムでは御園座、博多座等での公演を積極的に展開しましたが、景気後退の影響で団体動員が伸び悩み、これらの結果、演劇事業収入は135億4千4百万円（前期比1.9%減）となりました。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、昨年5月に「アビティ砵」、12月には「コモレビ成城」(共に賃貸住宅)が竣工し、リニューアル工事中の「東宝調布スポーツパーク」内のゴルフ練習場、テニスコートの一部等が営業を開始し、業績に寄与いたしました。また、景気回復が遅れる中、オフィス賃貸業界においては「借り手市場」という厳しい状況にありますが、細心の営業活動を行うことによって収益の維持に努力いたしました。また東宝スタジオでは、9月に「新ポストプロダクションセンター」[第5、第6ステージ]が竣工し、2月に旧ポストプロダクションセンターの改修工事が終わりました。これで2003年にスタートし足かけ8年にわたった「東宝スタジオ改造計画」が完了し、全

10ステージ・2ダビング体制が整いました。当期に関しては景気減退の影響で映画関連収入が全般的に伸び悩みましたが同スタジオを拠点として製作された映画・TV作品は、「岳ガクウ」「神様のカルテ」「ALWAYS 三丁目の夕日'64」など当社配給作品を中心に約30本となり、またCMは約130本を誘致し前年の88本から大きく回復しました。また東宝不動産(株)においては、ビル諸設備等の効果的な改修・改善、テナントへのきめ細かな対応を図るとともに、新規優良物件の取得・開発に努めるなど積極的な営業活動を展開いたしました。萬活土地起業(株)においては10月に長崎ステラパーキング（駐車場）が稼働を開始いたしましたほか、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社も、営業努力を続けました。その結果、不動産賃貸事業収入は281億8千4百万円（前期比0.3%減）となりました。

道路事業では、政府方針による公共事業費の予算削減により、発注件数の減少や労務単価が圧縮され、厳しい事業環境が続きました。このような情勢のもと、スバル興業(株)とその連結子会社が各分野において積極的な営業活動を展開し、道路の維持・清掃及び補修工事等の受注に努めました。また、冬季の除雪・凍結対策作業が収益に貢献いたしました。また、道路事業収入は178億4千2百万円（前期比7.1%減）となりました。

不動産保守・管理事業では、不動産市況の低迷による厳しい経営環境のもと、東宝ビル管理(株)、(株)東宝サービスセンターにて新規・臨時受注に取り組むなど努力を重ねましたが、他社との価格競争は一層厳しく、不動産保守・管理事業収入は99億8千3百万円（前期比4.7%減）となりました。

以上の結果、不動産事業収入は560億9百万円（前期比3.3%減）となりました。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業では、個人消費の低迷による低価格志向が依然続く中、顧客ニーズに沿ったサービスの充実に努めましたが、東宝共業企業(株)のゴルフ場等の大規模リニューアル工事期間の収入減もあり、その他事業収入は10億9千1百万円（前期比67.3%減）となりました。



■ 「怪盗グルーの月泥棒 3D」
©2010 Universal Studios. ALL RIGHTS RESERVED.



■ 連続ドラマ「最上の命医」
©入江謙三・橋口たかし・小学館／
「最上の名医」製作委員会



■ TVアニメーション「はなかつぱ」
©2010 あきやまただし／はなかつぱプロジェクト



■ 帝国劇場「Endless SHOCK」



■ 帝国劇場「エリザベート」



■ 「コモレビ成城」

来期の見通し

今後のわが国経済は、回復基調に戻りつつある途上で発生した東日本大震災の国内景気に与える影響が甚大であり、首都圏を中心とした広い地域に渡る電力の供給不足や原子力発電所事故などの不安定要素が大きく、厳しい状況が続くことが懸念されます。

映画界におきまして、震災の影響は免れず予断を許しませんが、困難な情勢下、電力事情等の社会情勢に配慮しつつも、健全娯楽を広く提供する使命を全うし、お客様のニーズに応えるコンテンツの提供を最重要課題として対処してまいります。

そのようななか、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,794億円（前期比9.8％減）、営業利益120億円（前期比46.4％減）、経常利益128億円（前期比44.8％減）、当期純利益は74億円（前期比35.1％減）をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し（2月末現在）をご説明申し上げます。

■ **映画事業**（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、当社において表4記載の作品を提供する予定をいたしております。また、前期まで映像事業に区分しておりました当社の映画企画部門は、映画営業事業に区分変更し、「宇宙兄弟」他の劇場用映画を製作する他、テレビ番組の制作にも取り組んでまいります。

また、東宝東和㈱において「タンタンの冒険／ユニコーン号の秘密」等の配給を予定しております。これらにより、映画営業事業収入は324億円（前期比21.3％減）を見込んでおります。

映画興行事業では、TOHOシネマズ㈱を中心とするグループ各興行会社が前記配給作品に加え、「パイレーツ・

表4. 来期提供予定映画作品	
① 共同製作・配給作品	
SP THE MOTION PICTURE 革命篇	名探偵コナン 沈黙の ^{クイーン} 15分
GANTZ PERFECT ANSWER	岳－ガク－
プリンセス トヨトミ	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら
星守る犬	アンダルシア 女神の報復
コクリコ坂から	ロック 〜わんこの島〜
神様のカルテ	アンフェア 2 (仮)
ステキな金縛り	モテキ
カイジ 2 (仮)	DOG×POLICE (仮)
映画 怪物くん	friends ものけ島のナキ
ALWAYS 三丁目の夕日 '64	源氏物語 千年の謎
② ①以外の当社配給作品	
映画ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団 ～はばたけ天使たち～	映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ 黄金のスパイ大作戦
阪急電車 片道15分の奇跡	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと白き英雄レシラム	
劇場版NARUTOーナルトー ブラッド・プリズン 炎の中忍試験！ナルトVS木ノ葉丸！！	

オブ・カリビアン／生命の泉」「ハリー・ポッターと死の秘宝（PART2）」「カーズ2」「ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル（仮）」等の大作、話題作を上映する予定です。これらにより、映画興行事業収入は600億円（前期比5.4％減）を見込んでおります。来期TOHOシネマズ㈱では、全スクリーンにデジタルシネマを導入し、より進化した3Dシステムへの変更、新規に開発した自動券売機導入、一部劇場における新料金制度のテスト実施、楽天ポイントとの提携等お客様のニーズに応える数々

の新サービスを投入することで、より利便性向上を図り、併せて省力化を推進し、競合の激化する経営環境において映画興行事業の強化を進めてまいります。一方、当社グループ来期中の劇場異動予定は表5の通りとなり、引続き興行体制の強化に努めてまいります。

表5. 来期中の劇場異動予定					
月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
平成23年3月13日	グランパーク東宝8	△8	山梨県甲府市	TOHOシネマズ㈱	閉館
3月17日	TOHOシネマズ 甲府	9	山梨県甲府市	TOHOシネマズ㈱	オープン
4月21日	TOHOシネマズ 上田	8	長野県上田市	TOHOシネマズ㈱	オープン
5月4日	大阪ステーション シティシネマ	12	大阪市	㈱松竹マルチプレックスシアタース TOHOシネマズ㈱ ㈱ティ・ジョイ共同経営	オープン
5月20日	TOHOシネマズ なんば・別館	(3)	大阪市	TOHOシネマズ㈱	リニューアル
7月16日	TOHOシネマズ 渋谷	(4)	東京都渋谷区	TOHOシネマズ㈱	リニューアル
8月31日	広島宝塚	△3	広島市	関西共栄興行㈱	閉館
12月中旬	TOHOシネマズ 渋谷	2	東京都渋谷区	TOHOシネマズ㈱	増館

映像事業のビデオ事業は、レンタル及びセル用作品として「悪人」「十三人の刺客」「SPACE BATTLESHIP ヤマト」「チェブラーシカ」「くまのがっこうージャッキーとケイティー」等の当社配給作品、TVアニメ「まんが日本昔ばなし」、ドキュメンタリー「DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろう？」等を提供し、セル用作品として洋画「キック・アス」ほか新作のブルーレイ事業を推し進めます。その他バラエティに富んだ作品群を提供いたします。出版・商品事業は「コクリコ坂から」「劇場版ポケットモンスター ベス

トウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム」「アンダルシア 女神の報復」、洋画「トランスフォーマー3 ダーク・オブ・ザ・ムーン（仮題）」を中心に展開し、売上増を図ります。著作権事業は、キャラクタービジネスの拡大に注力するとともに、既存著作権の活性化を目指します。またODSの配給業務に注力し、多数のラインナップを提供いたします。

また、㈱東宝映像美術、東宝舞台㈱、東宝アド㈱等各社では、コスト削減等に取り組みながら各種事業のさらに積極的な営業活動に取り組んでまいります。景気後退下の厳しい状況は当面続くと思われる、映像事業収入は182億円（前期比23.2％減）を見込んでおります。

以上の結果、映画事業収入は1,106億円（前期比13.8％減）を見込んでおります。

■ **演劇事業**

演劇事業では、帝国劇場にて3月に、全席完売の記録を更新している堂本光一主演「Endless SHOCK」（東日本大震災のため28公演が中止）、4、5、6月はロンドンオリジナル演出版としては最後の公演となる「レ・ミゼラブル」、6、7月は世界初演の伝説の舞台が半世紀ぶりに新たに蘇る「風と共に去りぬ」、7、8月は、オランダ、ドイツで大ヒットしたミュージカル「三銃士」を日本初演。9月は全席完売が続く「DREAM BOYS」、10月は時代を越えて輝き続ける名作「細雪」、11月はウィーンで大ヒット上演中のミュージカル「ニューヨークに行きたい!!」、12月は「ダンス・オブ・ヴァンパイア」が、記念すべき開場100周年記念公演のラストを飾ります。

シアタークリエは、3月はミュージカル「ウェディング・シンガー」（東日本大震災のため5公演が中止）、4月以降「CLUB SEVEN 7th stage!」「アンダーグラウンドパレード」「みんなクリエに来てクリエ!」「風を結んで」「姉



■ 「岳－ガク－」
©2011「岳－ガク－」製作委員会
©2005 石塚真一/小学館



■ 「コクリコ坂から」
©2011 高橋千鶴・佐山哲郎・GNDHDDT



■ 「アンダルシア 女神の報復」
©2011 フジテレビジョン・東宝/電通/ポニーキャニオン/
日本映画衛星放送/アイ・エヌ・ピー/FNS27社



■ 「パイレーツ・オブ・カリビアン／生命の泉」
© Disney Enterprises, Inc.



■ DVD「まんが日本昔ばなし」
©愛企画センター



■ 「十三人の刺客」Blu-ray
©2010「十三人の刺客」製作委員会

妹たちの庭で」「ニッポン無責任新世代」、ロックミュージカル「BLEACH」「わらいのまち」「ゲゲゲの女房」「ピアフ」「ヴィラ・グランデ 青山」、ミュージカル「GOLDーカミーユとロダン」、ミュージカル「アイ・ガット・マーマン」、ミュージカル「ハムレット」などバラエティ溢れる作品が揃いました。さらに日生劇場のミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォール」のほか、「ゾロ」「風と共に去りぬ」などの全国公演にも積極的に取り組み、東宝演劇公演を全国へ展開いたします。

また東宝芸能㈱にてCM契約等の拡大に向けて鋭意努力するほか、積極的な営業活動を展開してまいります。

これらの結果、演劇事業収入は119億円（前期比12.1%減）を見込んでおります。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では当社の不動産経営部門において、3月に竣工した「コモレビ大蔵」（賃貸集合住宅）のほか、開発中の「（仮称）京都東宝公衆ビル」（ロイヤルパークホテル）及びリニューアル工事中の「渋谷シネタワー」、「東宝調布スポーツパーク」内のテニスコートの来期中の完成へ向けて鋭意工事を進捗させます。また、再開発に向け東京都新宿区の「新宿東宝会館」の解体工事に着手します。その他全国に所有する不動産についても、長期的な視野に立った設備改修や企画立案を通し有効活用に努めます。東宝スタジオでは、スタジオ改造計画による敷地の有効利用・集約化を進めた結果、約2500坪の敷地を商業地として活用できることとなり、スーパーマーケット事業のサミット㈱に土地を賃貸してスタジオ事業の収益性を高めます。景気減退の影響を受けていた映画製作も回復基調にあり、「アンダルシア 女神の報復」など大作を中心に堅調な稼働が見込まれます。映画業界の製作意欲は衰えておらず、今後もその需要を取り込み製作現場の期待に応えてまいり

ます。また東宝不動産㈱においては、テナントに対するきめ細かな対応と意思の疎通を心がけるなど積極的な営業活動を推進するとともに、収益性・将来性に優れた新規賃貸物件の取得・開発に努め、事業規模の拡大と収益の確保を目指してまいります。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けてまいります。これらの結果、不動産賃貸事業収入は288億円（前期比2.2%増）を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業㈱とその連結子会社において、国や地方自治体の財政悪化に伴う公共事業費の削減や東日本大震災の影響もあり、厳しい経営環境が続くものと予想されます。この結果、道路事業収入は174億円（前期比2.5%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、厳しい受注状況に起因する低価格競争が続く中で、東宝ビル管理㈱及び㈱東宝サービスセンターにおいて、コスト削減を図るとともに、積極的な新規受注に努めてまいります。不動産保守・管理事業収入は95億円（前期比4.8%減）を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業収入は557億円（前期比0.6%減）を見込んでおります。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、回復半ばの個人消費に加え震災の影響も大きく受けることが予想される中、東宝共栄企業㈱、㈱東宝エンタープライズ等において、顧客ニーズに合致する新規サービスの構築に努めてまいります。その他事業収入は12億円（前期比10.0%増）を見込んでおります。

（注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。）



■ 帝国劇場「レ・ミゼラブル」



■ 帝国劇場「三銃士」



■ 京都東宝公衆ビル完成図

Topics

帝国劇場開場100周年記念公演

▶ これからのラインナップ

公演期間

6/18

↓

7/10

「帝劇グランド・ロマン 風と共に去りぬ」

現在の帝国劇場が新装開場した1966年に世界初演の幕を開けた伝説の舞台「風と共に去りぬ」。

南北戦争動乱期の1860年代アメリカ南部を舞台に、時代の波に翻弄されながらも真の愛を求め力強く生きた一人の女性の半生を描く不朽の名作が、新たなキャストとスタッフにより半世紀ぶりに復活いたします。

出演 米倉涼子／寺脇康文／紫吹 淳／岡田浩暉 ほか



公演期間

7/17

↓

8/26

「三銃士」

「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために！」

ご存知、アレクサンドル・デュマ原作の「三銃士」。

2003年にオランダのロッテルダムで初演され、2005年ドイツ・ベルリンでも好評を博したミュージカル「三銃士」が満を持して登場します。波乱万丈！手に汗握る冒険活劇を豪華キャストでお送りいたします。

出演 井上芳雄／山口祐一郎／瀬奈じゅん ほか



公演期間

10/5

↓

10/22

「細雪」

上演回数1,364回を数え、昭和41年の初演以来お客様に愛され続けた東宝演劇の代表作「細雪」が豪華キャストで蘇ります。旧家の四姉妹の人生を美しく艶やかに描き出した作品の魅力は、初演から45年経った今も色褪せることはありません。四姉妹の美の競演、はかなくも美しい物語をご堪能下さい。

出演 高橋恵子／賀来千香子／水野真紀／中越典子 ほか



連結貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成23年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	78,544	73,228
現金及び預金	9,470	11,823
受取手形及び売掛金	14,741	14,340
リース投資資産	9,632	10,007
有価証券	4,996	3,162
たな卸資産	4,789	6,405
繰延税金資産	3,513	3,018
現先短期貸付金	24,997	15,497
その他	6,622	9,084
貸倒引当金	△219	△111
固定資産	250,659	244,708
有形固定資産	158,528	155,403
建物及び構築物	92,321	91,586
機械装置及び運搬具	3,564	3,524
器具及び備品	2,059	1,925
土地	55,498	55,104
リース資産	677	836
建設仮勘定	4,406	2,423
無形固定資産	8,312	8,871
借地権	1,026	1,026
のれん	5,656	6,125
リース資産	39	40
その他	1,589	1,678
投資その他の資産	83,818	80,434
投資有価証券	61,507	56,946
繰延税金資産	1,009	1,232
差入保証金	16,089	16,365
その他	6,037	6,912
貸倒引当金	△824	△1,022
資産合計	329,204	317,936

1 未払法人税等

当期は、東宝㈱において4,474百万円を計上したため、大幅な増加となっております。

2 退店補償損失引当金

映画劇場の退店に伴い発生する損失に備えるため、違約金等の退店関連損失見込額を計上しております。

(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成23年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	42,269	39,906
買掛金	11,886	12,629
短期借入金	115	99
1年以内返済予定長期借入金	615	309
リース債務	221	209
未払金	5,075	5,867
未払費用	4,864	5,525
1 未払法人税等	6,523	2,457
未払消費税等	523	847
賞与引当金	864	926
役員賞与引当金	6	7
固定資産撤去損失引当金	3,537	3,522
PCB処理引当金	—	23
2 退店補償損失引当金	650	—
工事損失引当金	13	—
預り保証金 (1年内返還)	1,467	1,765
その他	5,906	5,715
固定負債	51,279	52,007
社債	10,000	10,000
長期借入金	610	1,190
繰延税金負債	11,017	10,039
リース債務	552	731
退職給付引当金	3,066	3,952
役員退職慰労引当金	372	391
PCB処理引当金	780	188
預り保証金	23,816	24,071
その他	1,063	1,441
負債合計	93,549	91,914
純資産の部		
株主資本	203,615	196,262
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	13,837	13,837
利益剰余金	183,100	175,441
自己株式	△3,678	△3,371
評価・換算差額等	11,021	8,143
その他有価証券評価差額金	10,129	7,251
土地再評価差額金	891	891
少数株主持分	21,018	21,616
純資産合計	235,655	226,022
負債・純資産合計	329,204	317,936

連結損益計算書

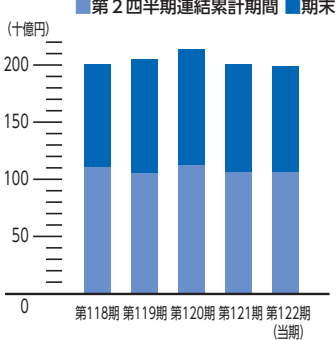
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年3月 1 日から 平成23年2月28日まで	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで
営業収入	198,953	201,699
営業原価	122,814	122,768
売上総利益	76,138	78,930
販売費及び一般管理費	53,734	59,770
営業利益	22,403	19,159
営業外収益	1,123	1,340
営業外費用	349	326
経常利益	23,178	20,173
特別利益	755	600
3 特別損失	3,432	8,877
税金等調整前当期純利益	20,500	11,896
法人税、住民税及び事業税	8,618	3,771
法人税等調整額	△285	△630
少数株主利益	768	878
当期純利益	11,399	7,876

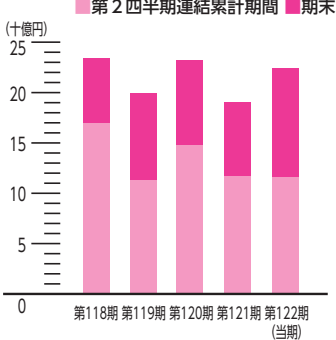
3 特別損失

退店補償損失引当金繰入額650百万円、固定資産撤去損失引当金繰入額467百万円等でございます。

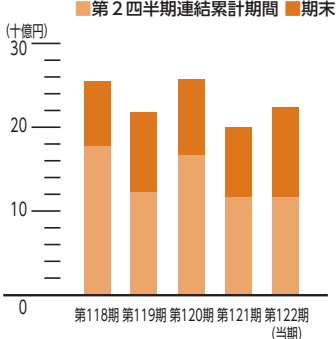
●営業収入



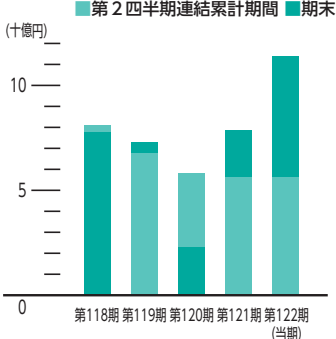
●営業利益



●経常利益



●当期純利益

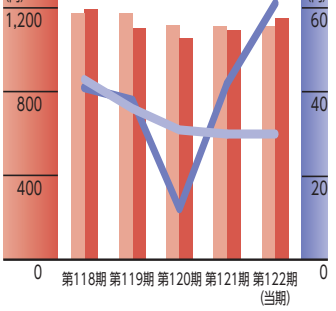


●1株当たり純資産

■第2四半期連結会計期間 ■期末

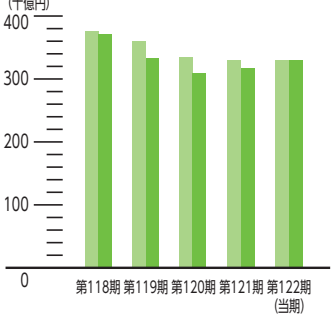
●1株当たり当期純利益

■第2四半期連結累計期間 ■期末



●総資産

■第2四半期連結会計期間 ■期末



連結株主資本等変動計算書

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

(単位：百万円)

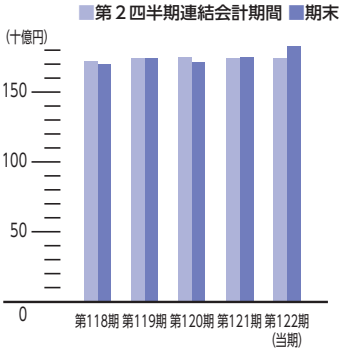
	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評 価 差 額 金	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計		
平成22年2月28日残高	10,355	13,837	175,441	△3,371	196,262	7,251	891	8,143	21,616	226,022
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△3,740		△3,740			－		△3,740
当期純利益			11,399		11,399			－		11,399
自己株式の取得				△306	△306			－		△306
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額（純額）					－	2,877	－	2,877	△597	2,280
当連結会計年度中の変動額合計	－	－	7,658	△306	7,352	2,877	－	2,877	△597	9,632
平成23年2月28日残高	10,355	13,837	183,100	△3,678	203,615	10,129	891	11,021	21,018	235,655

連結キャッシュ・フロー計算書

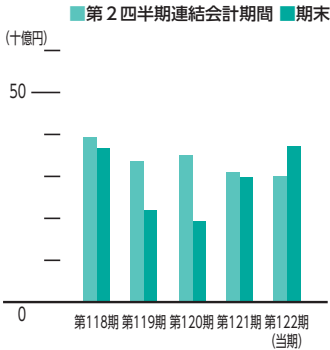
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年3月 1 日から 平成23年2月28日まで	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,141	26,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,807	△9,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,857	△6,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△26
現金及び現金同等物の増減額	7,446	10,469
現金及び現金同等物の期首残高	29,773	19,292
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	－	12
現金及び現金同等物の期末残高	37,220	29,773

●利益剰余金残高



●現金及び現金同等物の残高



東宝グループ各社（連結子会社38社、持分法適用会社4社）

映画製作・配給

(株)東宝映画…………… 映画の企画・製作
東宝東和(株)…………… 洋画の輸入・配給
(株)東京現像所…………… フィルムの現像、CG・デジタル合成などの処理

映画興行

TOHOシネマズ(株)… TOHOシネマズ日劇・TOHOシネマズ六本木ヒルズ・
TOHOシネマズ梅田などの映画館経営
北海道東宝(株)…………… 恵庭東宝シネマ8の経営
関西共栄興行(株)……… 松江SATY東宝・米子駅前SATY東宝などの経営
九州共栄興行(株)……… 休眠中
(株)公楽会館…………… ビルの賃貸

映像の製作・販売

東宝ミュージック(株)… 映画・ミュージカルなどの音楽製作、音楽原盤・著作権の管理
(株)東宝映像美術……… 映画・テレビ・CMなどの美術製作、テーマパーク・
イベントの企画・デザイン・施工
(株)東宝コスチューム… 映画・テレビ・イベント・テーマパークなどの衣裳
の製作・レンタル
東宝舞台(株)…………… 演劇・テレビなどの舞台美術・小道具・衣裳の製作
東宝アド(株)…………… テレビ・新聞・雑誌など広告媒体の取扱代理業、映像・
ポスターなど各種宣伝広告物の企画・デザイン・制作
(株)東宝ステラ…………… 東宝作品のビデオ・パンフレット・キャラクター商
品などの流通・販売、映画原版・プリントの管理

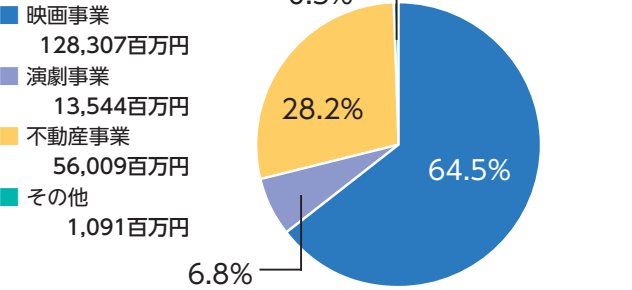
演劇事業

東宝芸能(株)…………… 映画・演劇・テレビなどへの俳優の斡旋、演劇の企
画・製作、イベントの企画・製作
(株)東宝エージェンシー… 演劇公演の団体入場券の斡旋・販売
(株)コマ・スタジアム… 演劇の制作、ビルの賃貸

不動産の賃貸等

国際放映(株)…………… スタジオのレンタル、テレビ番組の企画・制作
三和興行(株)…………… 新宿三丁目東宝ビル・新宿文化ビルの賃貸
東宝不動産(株)…………… 東宝ツインタワービル・帝劇ビルなど不動産の賃貸、劇
場内売店の経営、飲食店の経営、保険代理業、介護事業
萬活土地起業(株)……… 長崎・熊本・鹿児島におけるビルの賃貸

●当期事業部門別営業収入比率



道路事業

スバル興業(株)他11社… 道路の維持清掃及び補修工事、飲食店の経営、有楽
町スバル座の経営

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター… ビルの管理・清掃・警備（東京・仙台・北海道など）
東宝ビル管理(株)……… ビルの管理・清掃・警備（近畿・中部・九州など）

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)……… 調布ゴルフコース、調布テニスクラブの経営
(株)東宝エンタープライズ… 東宝ダンスホールの経営
東宝フーズ(株)…………… ベーカリーショップの経営、劇場コンセッション用
及び一般食材等の販売

持分法適用会社

オーエス(株)…………… OSシネマズミント神戸などの映画館経営、OSビル
など不動産の賃貸、梅田OSホテルの経営
(株)東京楽天地…………… 錦糸町楽天地ビルの賃貸、TOHOシネマズ錦糸町な
ど映画館の経営、ボウリング場・サウナなどの経営
成旺印刷(株)…………… パンフレット・ポスター・チラシなど、各種印刷物の製作
(株)アイアクセス……… 道路の維持補修

貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成23年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	53,689	47,126
現金及び預金	3,762	6,295
受取手形及び売掛金	6,621	4,555
リース投資資産	6,213	6,489
有価証券	1,633	—
1 たな卸資産	3,378	4,541
繰延税金資産	2,314	1,763
現先短期貸付金	24,997	15,497
関係会社短期貸付金	2,061	2,777
1年以内回収予定関係会社長期貸付金	556	1,440
未収法人税等	—	2,125
その他	2,266	1,678
貸倒引当金	△117	△38
固定資産	184,065	176,449
有形固定資産	88,189	84,988
建物及び構築物	62,913	61,302
機械装置及び運搬具	1,096	766
器具及び備品	547	486
土地	20,345	20,345
2 建設仮勘定	3,286	2,086
無形固定資産	1,963	2,186
借地権	925	925
その他	1,037	1,261
投資その他の資産	93,912	89,273
投資有価証券	47,338	41,955
関係会社株式	31,308	31,000
長期貸付金	550	662
関係会社長期貸付金	12,274	13,340
差入保証金	1,536	1,537
その他	1,145	1,229
貸倒引当金	△242	△451
資産合計	237,754	223,576

1 たな卸資産

映画「告白」「悪人」、TVアニメ「はなかつぱ」等の製作勘定が原価に振替られたため、減少いたしました。

2 建設仮勘定

3月に竣工いたしました「コレレビ大蔵」や来期竣工予定の「(仮称)京都東宝公衆ビル」の建設費用等で増加しております。

(単位：百万円)

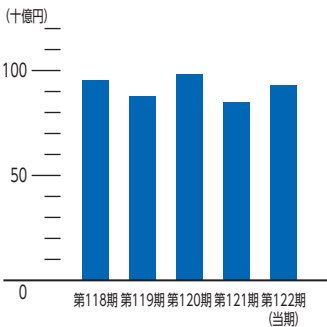
科目	当 期	前 期
	平成23年2月28日 現在	平成22年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	40,180	34,286
買掛金	5,186	3,229
関係会社短期借入金	13,982	15,416
1年以内返済予定長期借入金	—	149
1年以内返済予定関係会社長期借入金	2,995	1,424
未払金	1,725	2,360
未払費用	3,471	2,958
未払法人税等	4,474	—
賞与引当金	282	268
固定資産撤去損失引当金	3,520	3,522
PCB処理引当金	—	23
その他	4,544	4,933
固定負債	40,565	41,876
社債	10,000	10,000
関係会社長期借入金	11,324	13,645
繰延税金負債	2,556	1,632
退職給付引当金	949	1,465
PCB処理引当金	654	47
未払役員退職慰労金	398	406
預り保証金	14,682	14,649
その他	—	30
負債合計	80,745	76,163
純資産の部		
株主資本	147,325	140,871
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	10,626	10,626
資本準備金	10,603	10,603
その他資本剰余金	23	23
利益剰余金	129,638	122,887
利益準備金	2,588	2,588
その他利益剰余金	127,050	120,298
土地圧縮積立金	243	243
建物圧縮積立金	59	60
別途積立金	105,465	100,465
繰越利益剰余金	21,282	19,530
自己株式	△3,295	△2,998
評価・換算差額等	9,682	6,541
その他有価証券評価差額金	9,682	6,541
純資産合計	157,008	147,412
負債・純資産合計	237,754	223,576

損益計算書

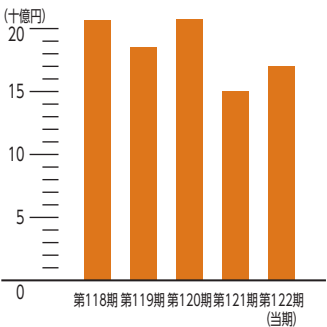
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで	平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで
営業損益		
営業収入	93,017	85,008
営業原価	55,317	49,414
売上総利益	37,699	35,594
販売費及び一般管理費	24,863	24,664
営業利益	12,836	10,929
営業外損益		
収入利息及び配当金	4,816	5,074
その他の営業外収益	72	50
営業外収益計	4,889	5,124
支払子子	285	331
その他の営業外費用	109	113
営業外費用計	394	445
経常利益	17,330	15,609
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	2,211
固定資産売却益	—	209
貸倒引当金戻入益	—	24
有価証券清算益	14	—
投資有価証券売却益	7	—
特別利益計	21	2,446
特別損失		
PCB処理引当金繰入額	601	—
固定資産撤去損失引当金繰入額	450	3,466
固定資産取壊費用	173	353
投資有価証券評価損	296	266
減損損失	293	—
固定資産除却損	165	—
固定資産臨時償却費	156	111
立退補償金	144	1,081
その他	332	142
特別損失計	2,613	5,421
税引前当期純利益	14,738	12,633
法人税、住民税及び事業税	5,066	294
法人税等調整額	△819	△424
当期純利益	10,491	12,763

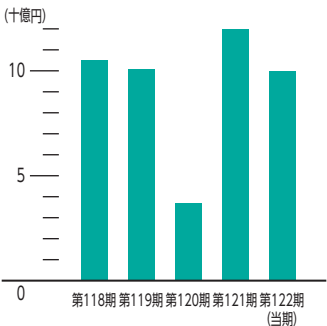
●営業収入



●経常利益

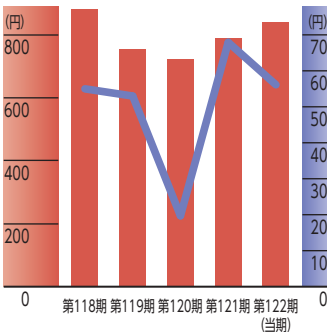


●当期純利益

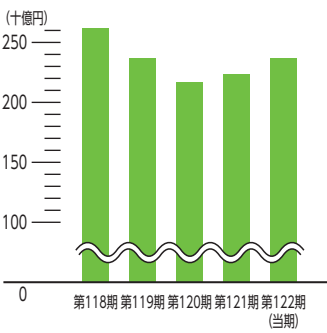


●1株当たり純資産

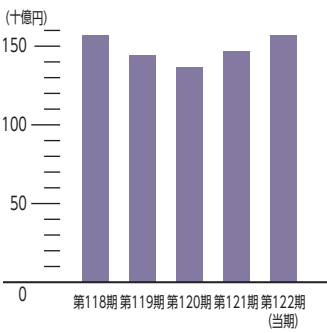
●1株当たり当期純利益



●総資産



●純資産



Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本												評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金						自己株式	株主資本 合 計		
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合 計	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金				利益剰余金 合 計				
						土地圧縮 積 立 金	建物圧縮 積 立 金	別途積立金	繰越利益 剰 余 金					
平成22年2月28日残高	10,355	10,603	23	10,626	2,588	243	60	100,465	19,530	122,887	△2,998	140,871	6,541	147,412
当事業年度中の変動額														
別途積立金の積立								5,000	△5,000	－		－		－
剰余金の配当									△3,740	△3,740		△3,740		△3,740
建物圧縮積立金の取崩							△1		1	－		－		－
当期純利益									10,491	10,491		10,491		10,491
自己株式の取得										－	△297	△297		△297
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額（純額）										－		－	3,141	3,141
当事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	－	△1	5,000	1,752	6,751	△297	6,454	3,141	9,595
平成23年2月28日残高	10,355	10,603	23	10,626	2,588	243	59	105,465	21,282	129,638	△3,295	147,325	9,682	157,008

(単位：百万円)

配当金について

配当金につきましては、別紙のとおり、1株15円として定時株主総会においてご決議いただきました。

当社といたしましては一層の経営の充実をはかり、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の配当金領収証により、払渡期間（平成23年5月27日～平成23年6月27日）中に、ゆうちょ銀行全国本店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。（同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口にお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。）

また、銀行預金口座振込をご指定の方は同封の「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

来期の配当予想について

第123期の配当予想につきましては、1株当たり中間5円（普通配当）、期末15円（普通配当5円、特別配当10円）の計20円を予想いたしております。

会社の利益配分の基本方針

当社グループの主要事業であります映画・演劇は、作品により損益の変動が絶えず、安定配当確保と財務体質強化のため内部留保に努めてまいりましたが、収益に対しバランスの取れた株主還元を行うことも重要と認識しております。

かかる方針のもとに当社は第99期（昭和62年）より年

額100円の配当を続けてまいりました。また平成14年4月には投資単位引下げのため1:10の株式分割を実施し、第114期（平成14年）は創立70周年記念配10円を合わせ年額20円の配当を実施、第115期は3円の特別配当を含め年額13円の配当を行いました。さらに第116期、第117期及び第118期は好業績を反映させた10円の特別配当を含め、年額20円の配当を行い、第119期は10円の特別配当及び創立75周年記念配5円を含め、年額25円の配当を行いました。第120期、第121期、第122期も10円の特別配当を含めた年額20円の配当を行いました。

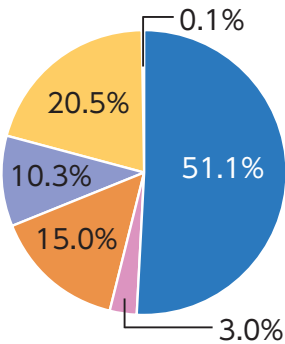
今後も年額10円の普通配当を堅持しつつ、業績と資金需要に意を配りながら株主還元に努めてまいる所存です。

内部留保の使途につきましては、優れたコンテンツの獲得、シネマ・コンプレックスの展開、所有不動産リニューアル等、中長期的展望に基づきグループ収益基盤の強化に当ててまいります。

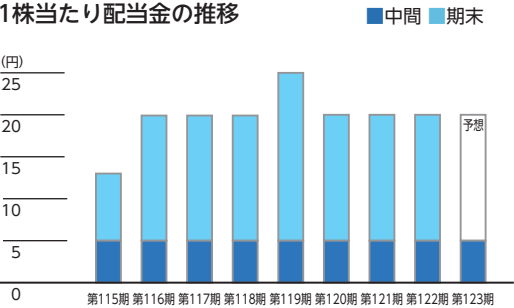
●東宝(株)当期部門別営業収入比率

- 映画製作・映画営業 485億円
- 映画企画 28億円
- 映像事業 142億円
- 演劇興行 98億円
- 不動産経営・スタジオ ... 195億円
- その他 1億円

(各部門とも数字は内部振替控除前のものです。)



1株当たり配当金の推移



Investor Information

株式情報（平成23年2月28日現在）

株式の状況

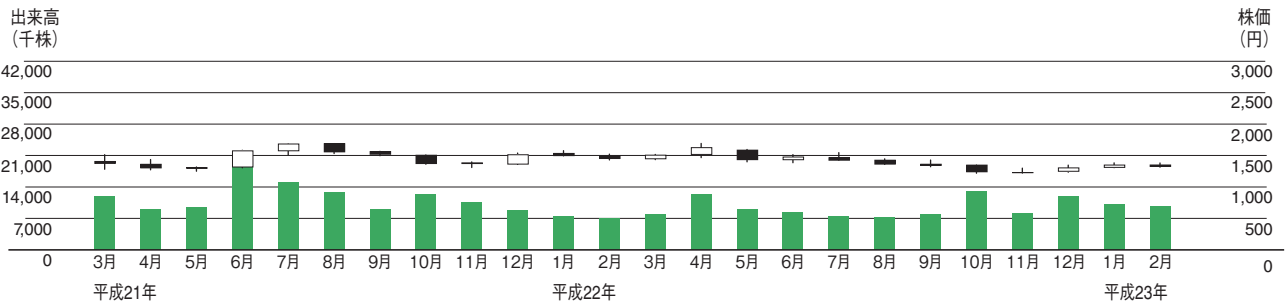
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	188,990,633株 (自己株式2,121,722株を含む)
株主数	32,512名 (前期末比 3,471名増加)

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.20
阪急不動産株式会社	15,150	8.10
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	13,664	7.31
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	5,060	2.70
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.64
株式会社TBSテレビ	4,521	2.41
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	4,451	2.38
株式会社電通	3,779	2.02
株式会社丸井グループ	3,223	1.72
株式会社竹中工務店	2,885	1.54

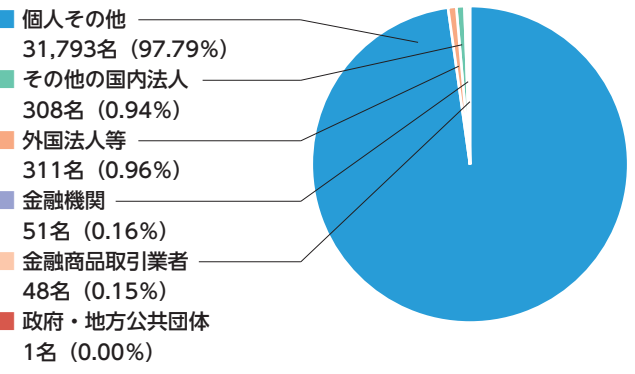
(注) 持株比率は、自己株式2,121,722株を控除して計算しております。

株価・出来高の推移

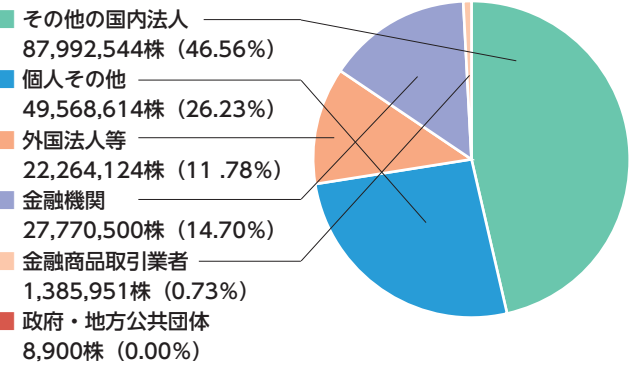


所有者区分別株式分布状況

株主数



株式数



Corporate Data

会社概要

会社概要（平成23年2月28日現在）

会社名	東宝株式会社
設立	昭和7年8月12日
資本金	10,355,847,788円
従業員数	388名 但し、嘱託16名、出向受入者30名を含み、 出向者101名を含みません。
本社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
支社	関西（大阪）
スタジオ	東京 世田谷（成城）
演劇直営劇場	本社直轄 2劇場（帝国劇場、シアタークリエ）
その他の営業所	有楽町センタービル（通称有楽町マリオン） 東宝日比谷ビル（通称日比谷シャンテ） 東京宝塚ビル 東宝シアタークリエビル HEPナビオ 東宝南街ビル
主な事業内容	映画の製作、売買及び賃貸借、 テレビ放送番組等の制作及び販売、 映画のパフレット及びビデオソフトの製 作並びに販売、商品化権に関する事業、 その他
演劇	演劇の企画、製作及び興行
不動産経営	土地・建物の賃貸借、その他

役員（平成23年5月26日現在）

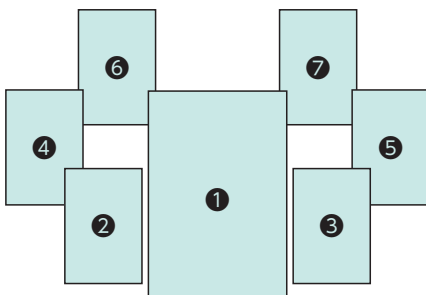
代表取締役 取締役社長	島谷 能成	映像本部長兼経営企画担当 内部監査室直轄
代表取締役 取締役副社長	千田 諭	映像本部映画営業、同宣伝、 同国際各担当
専務取締役	中川 敬	不動産経営、スタジオ各担当 TOHOシネマズ株式会社 代表取締役社長
専務取締役	増田 憲義	演劇担当
専務取締役	高橋 昌治	人事、総務各担当 兼経営企画担当補佐
常務取締役	浦井 敏之	経理財務、情報システム各担当 兼特定取締役
取締役	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取締役	大隈 廣	株式会社コマ・スタジアム 代表取締役社長
取締役	石塚 泰	人事担当補佐
取締役	太古 伸幸	経営企画部長
取締役	新坂 純一	映像本部映像事業担当
取締役	山下 誠	不動産経営部長
取締役	市川 南	映像本部映画調整、 同映画企画各担当兼同映画調整部長
常勤監査役	村上 主税	監査役会議長兼特定監査役
常勤監査役	沖本 友保	
監査役	大西昭一郎	弁護士
監査役	小林 節	株式会社パレスホテル 代表取締役社長

■株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日
 定時株主総会 5月中
 配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
 中間配当金 8月31日
 基準日 定時株主総会 2月末日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して
 臨時に基準日を定める。
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 ※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は
 電話 0120-244-479 (通話料無料)
 インターネットホームページ
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>
http://www.toho.co.jp/toho_ir/
 公告掲載URL ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。

●表紙のご紹介

本年1月に決定した「第7回 東宝シンデレラ オーディション」の受賞者です。ご声援をお願いいたします。



①グランプリ

上白石 萌歌 (かみしらいし もか)

□生年月日/2000年2月28日生(11才)

□出身地/鹿児島県

□特技/歌うこと

②ニュージェネレーション賞

浜辺 美波 (はまべ みなみ)

□生年月日/2000年8月29日生

□出身地/石川県

③審査員特別賞

上白石 萌音 (かみしらいし もね)

□生年月日/1998年1月27日生

□出身地/鹿児島県

④審査員特別賞

松島 純菜 (まつしま じゅんな)

□生年月日/1997年11月20日生

□出身地/千葉県

⑤審査員特別賞

山崎 紘菜 (やまざき ひろな)

□生年月日/1994年4月25日生

□出身地/千葉県

⑥ニュージェネレーション賞

小川 涼 (おがわ りょう)

□生年月日/2000年2月29日生

□出身地/千葉県

⑦審査員特別賞

秋月 成美 (あきづき なるみ)

□生年月日/1996年10月25日生

□出身地/神奈川県

■株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行 シート数(半年につき)(※)
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000株～1,999株	1枚	0枚	1シート
2,000株～2,999株			2シート
3,000株～4,999株			3シート
5,000株～9,999株		1枚	6シート
10,000株～19,999株		2枚	10シート
20,000株～29,999株	3枚		15シート
30,000株～49,999株			20シート
50,000株～99,999株			25シート
100,000株以上			30シート

・株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いただけます。

・株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となります。

※株主映画ご招待券1シートは、指定2ヶ月間通用券×6枚となります。

2月末日現在の株主に5月下旬に発行：6・7月、8・9月、10・11月通用各2枚。

8月末日現在の株主に11月中旬に発行：12・1月、2・3月、4・5月通用各2枚。

株主映画ご優待券交付基準 (800円で映画をご覧いただけます。)

100株～499株	半年 2枚	500株～999株	半年 8枚
-----------	-------	-----------	-------

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。

8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」[株主優待]をご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォントを
 採用しています。

〒100-8415
 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
東宝株式会社
 総務部 電話 (03) 3591-1214
<http://www.toho.co.jp>